

## 平成 2 8 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成 2 8 年 4 月～平成 2 9 年 3 月

### 1. 学校概要

学校名 橿原市立畝傍中学校

種 別  保育園・幼稚園       小学校       小中一貫教育  
 中学校       中高一貫教育       高等学校  
 教員養成       技術/職業教育  
 特別支援学校       その他 (                      )

所在地 〒 634 - 0045  
奈良県橿原市石川町 204

E-mail [unechu@mahoroba.ne.jp](mailto:unechu@mahoroba.ne.jp)

Website \_\_\_\_\_

児童生徒数 男子 396 名      女子 327 名      合計 696 名  
児童・生徒の年齢 12 歳～ 15 歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか (                      )

### 3. 活動内容

#### (1) 1年間の活動内容

2016年度 人権総合学習ベーシックプラン(案)

	1年	2年	3年
4月	思いっきり自己紹介	思いっきり自己紹介	思いっきり自己紹介
5月	海洋実習に向けて	校外学習に向けて	
6月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           ☆地域学習(部落問題学習)            ・洞村学習            ・地域の人々との出会い他            《出会い その1》         </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           ☆部落問題学習            ・差別の現実に学ぶ            ・結婚差別など            《出会い その4》         </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           ☆進路学習            ・高校訪問に向けて            ・高校調べ            ・畝傍夜間中学に学ぶ         </div>
7月	(反戦平和学習)	(反戦平和学習)	(反戦平和学習)
8月			・高校等体験入学 オープンスクールに参加 体育大会に向けて
9月	体育大会に向けて	体育大会に向けて	体育大会に向けて
10月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           ☆福祉ボランティア体験学習            ・障がい者問題学習            ・福祉ボランティア体験            《出会い その2》         </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           ☆職場体験学習            ・職業調べ            ・労働学習            ・職業人のナマの声を聞く            《出会い その5》         </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           ☆進路学習            ・将来を見すえて            ・夜間中学や定時制高校に学ぶ            ・奨学金制度を知る            ・あおぞらの生徒の進路について            ・ゲストティーチャーに学ぶ            《出会い その7》         </div>
11月			
12月		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           ☆国際理解学習            ・韓国・朝鮮との出会い            ・アジアの国々との出会い            ・在日コリアンの現状            《出会い その6》         </div>	
1月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           ☆命の学習            ・性教育            ・命について学ぶ            《出会い その3》         </div>		
2月		修学旅行に向けて ・修学旅行実施	畝中生活総括 ・文集づくり
3月			・答辞作成など

#### ① 人権を尊重する意識・態度を育成するための取り組み内容

- ・人権に関するアンケート調査を行い、生徒の意識や実態を把握する。
- ・班活動を重視し、班ノートの充実。班で問題提起があれば、学活や終わりの会で話し合う。
- ・学級通信を発行し、班ノートの内容を載せたり、人権問題を意識させる内容を載せる。
- ・特別支援学級からの新聞を使い、「障がい者」について考えさせる。
- ・人権教育部からの通信を使い、人権意識をもたせる。

## ①各学年の取り組み

### 〔1年生〕

#### ・障がい者問題学習

1学期の人権学習の大きなテーマとして「障がい者問題学習」がある。本校1年生には車いすとクラッチを使って学校生活を送るYさんがいる。所属しているクラスはもちろん、最初の学年集会でも特別支援学級の担任の先生から話があった。本人の学校生活のようすを知り、本人の思いを知ることをねらいとしてとりくみ、講演会では母親にも思いを語ってもらった。さらに、車いす体験をしてさらに学習を深めるとともに、指文字や手話が、人と人をつなぐ大切なコミュニケーションをとる一つの手段であることを理解させる。また、今年行われたパラリンピックにも、目を向け視野を広げていって、2学期11月に山本篤さん（パラリンピックメダリスト）の講演会を行った。



#### ・部落問題学習

2学期に洞村フィールドワークを実施。小学校の時にも学習しているので事前学習の資料の読み取りも熱心に聞くことができたように思う。

おおくぼまちづくり館や洞村、移転後の生活について、福西先生・友金先生・吉住先生の講義を受け、実際にフィールドワークをして学べたことはとても良かった。楠原宗吉さんの生き方に学び、洞村移転は決してマイナスイメージではなくピンチをチャンスに変えたという点に重点をおいた指導をしてきた。

#### ・命の学習

命と食との関わりについてDVDを用いて学習した。その後、梅本先生から食育についての学習をしていただいた。「いのち」を考える授業という流れで、「天国のたかしくん」絵本「みらいへ」のDVDを鑑賞し、命のつながりについて考えた。その後、「命の授業」として助産師さんに来ていただき、お話を聞かせていただいた。

#### ・1年生の活動

11月、パラリンピック陸上競技で活躍された山本さんに来校して頂き、夢をもつ大切さを学んだ。授業では実際にパラリンピックの金メダルを触らせてもらうなど、生徒との距離も非常に近く接して頂き、とても良い経験になった。障がい者が暮らしやすい環境は、自分たちにも暮らしやすいことであることを確認し活動した。講演の感想を書き、山本さんへ講演のお礼状を書いた。2月に入り「スロープ作成」プロジェクトの立ち上げ生徒昇降口・体育館側出口通路のスロープの老朽化と安全性の向上の向け架け替えするため、生徒に呼びかけを行い、作成チームを立ち上げた。その後、スロープの材料を購入し、組み立てた。



### 〔2年生〕

#### ・部落問題学習

1学期では、部落問題学習を行った。パワーポイントなどの映像資料を使用し、差別が生まれるまでの歴史を学習した。また、水平社宣言を実際に録音し、流すことでその感情や気持ちを深くまで考える機会をもった。また「タイムトラベラーユキ」というセリフ劇の教材をもちいて、各時代の考え方や、差別をうけた人々の感情がより実感を持って感じられるように工夫した。

## • 職場体験

12月8日、9日の職場体験にむけて、職業に対する学習を行った。まず、職場を選択する際に、自分の職業に対する価値観についてのダイヤモンドランキングを考え、班ごとに発表した。また、身近な人の職業について知るために、インタビュー形式で仕事についての質問を行う機会を持った。その後、それぞれがそのインタビューを持ち寄り、班でまとめ、クラス内で発表を行った。10月末に、「仕事のプロに学ぶ」と題して、ゲストティーチャーをお呼びし、講座に分かれてお話を伺った。また、実際に職場体験を経験した3年生に昨年度の体験について語ってもらった。

## • 性的マイノリティ（LGBTQ）の学習

2月23日（木）NPO法人きららの木より田崎智咲斗さんに来校、講演していただき、その時間をはじめとし、4時間立てて学習した。

## 〔3年生〕

### • 進路学習

上級学校訪問を各学校が行うオープンキャンパスの中から各自が選んで参加した。そして、受験に対する意識を高めるため、この訪問の重要性について事前に学習を重ね、服装・頭髪等のチェックについても厳しく指導した。また、学校によって時期が異なるため全体の動きや高校への対応など忙しい時期と重なり大変であった。

### • 進路学習に関わって、人権の視点からの学習

◎畝傍中学校夜間学級の取り組みに学ぼう

- 事前学習映画『学校』編集版

夜中DVD『申順連さんの話～文字は生きるための武器～』

- 夜中の先生の出前授業・世界のはての通学路など

◎畝傍中学校と夜間学級との生徒間交流

- 生徒の夜中訪問・夜中の方が給食に参加
- 畝中バザーで、夜中の生徒さんにお手伝いをしていただく

ただく

- 畝中フェスタで、夜中の生徒の方に作文を読んでいただく
- 生徒数名と夜中の補食（チヂミ）をいただきに行く
- 夢の森フェスティバルで育てる会のチヂミづくり手伝い
- 夜中の餅つき行事に参加

〔まとめ〕

昼の畝中と夜の畝中と一緒に何かすることが、今回の人権学習の中で、子どもたちにとっても、また私たち教師にとっても、何よりも大きなことを生み出すものだったと感じている。夜中の生徒の方々、先生方にとっても、昼の生徒たちや先生たちと関わるのが大きな刺激になったかもしれない。昼の生徒たちが夜中と関わるなかでどんなことを思ったのか。夜中とはどんなところで、どんな人たちが来ていて、どんなふうに生きてこられて、どんな勉強をしているのか。そういったことを実際に見て知ることは、DVDやテキストで学ぶよりも多くのことを学ぶことができる。今回は見学に行ったメンバーだけが、夜中と深くつながることになったが、今後の取り組みでさらに多くの生徒が、夜の畝中をもっと身近に感じ、もっと深く関わるような取り組みができれば素晴らしいことだと思う。生徒間だけでなく、教師どうしも気軽に交流をするなかで、お互いにとってプラスになる取り組みをつくりあげることができた。



## 〔全校〕

- 反戦・平和いのちの集い

広島原爆を体験したピアノ。爆心地から1.8kmという場所で被爆し、幸運にも壊れなかったピアノ。ガラスの破片が突き刺さりながら無事だったピアノ。それから長い年月を経ても、ミサコさんのそばにあったピアノだが、ある調律師の力で再び音色を奏でる日が来た。被爆ピアノコンサートをかしはら万葉ホールで行い、各学年の代表の生徒にもすばらしいピアノ伴奏を行っていただいた。

#### ・畝中フェスタ

昨年度より、文化活動発表会と人権フェスタを1日にまとめて、畝中フェスタとして実施している。文化活動発表は、夏休み中に文化部の生徒が時間をかけて、準備していただいたものを発表していただいた。

人権フェスタは十数年前に、なかまとのつながりを大切にする活動の場として実施されていた行事を復活したものである。今年も3年生有志が中心となり、夏休み前から、夏休み明けまでたいへん精力的に準備をしていただいた。まず、人権作文の発表があり、各学年の代表者から、『今の私たちが考えること』[1年]、『被爆ピアノを演奏して感じたこと』[2年]、『言葉』[2年]をテーマに、自らの決意を述べました。続いて、3年生畝傍夜中との交流の実行委員の生徒たちから6月～12月まで続いていた夜間中学の生徒さんたちとの交流について報告した。当日は夜中の生徒さん、先生方も参加して下さり、夜中の高齢の生徒さんが、全校生徒の前で作文を読んでいただいた。



#### ・クリーン作戦

5月24日と10月21日、中間テストの最終日、すべての部活動の生徒約450名の生徒が参加して、学校周辺と学校内の美化・清掃のボランティア活動を行った。

軍手、火ばさみ、ゴミ袋を持って割り当てた場所に行き、燃えるゴミ、缶、ビン、ペットボトルなどに分別し、処理した。本校でのクリーン作戦も5年目となり、行事として定着してきました。生徒も要領よく手分けし、作業をしてくれた。クラブの活動なので上級生が下級生をアドバイスし、清掃している姿も見られた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（ ）